



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年11月13日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東
 コード番号 4576 URL <http://www.dwti.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務管理部長 (氏名) 川上 哲也 (TEL) 052-218-8785
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	40	△20.0	△170	—	△167	—	△168	—
25年12月期第3四半期	50	△55.6	△168	—	△179	—	△180	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	△7.39	—
25年12月期第3四半期	△8.72	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	2,152	2,138	99.4
25年12月期	2,292	2,269	99.0

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 2,138百万円 25年12月期 2,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年12月期の業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40	△50.0	△243	—	△240	—	△241	—	△10.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	22,768,400株	25年12月期	22,695,900株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	—株	25年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	22,739,081株	25年12月期3Q	20,660,926株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における国内経済は、消費税増税後の景気の下振れが残りつつも、緩やかながら回復基調が続きました。一方で、円安進行による輸入価格の上昇や物価上昇による購買意欲の落ち込みで、先行き不透明な状況が続いております。

国内医薬品業界におきましては、医薬品需要は増加傾向にあるものの、国の医療費抑制政策を反映し、薬価基準の引き下げや後発医薬品の価格競争促進など、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況の下、当社は新薬の継続的な創出とパイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

ライセンスアウト済パイプラインにつきましては、ライセンスアウト先の興和株式会社により、抗血小板剤「K-134」の国内後期第Ⅱ相臨床試験が実施され、被験者への投与が終了しました。本試験は用量設定試験（二重盲検試験）部分の鍵を行き、その結果、本剤投与による有効性は示唆されたものの、主要評価項目が達成できなかったとの連絡を受けました。本試験の長期投与試験（オープン試験）を含めた試験結果を基に今後の開発方針が検討されます。また、緑内障治療剤「K-115（一般名：リバスジル塩酸塩水和物、販売名：グラナテック[®]点眼液0.4%）（以下、「K-115」）」につきましては、緑内障・高眼圧症治療薬として、9月26日に国内製造販売承認を取得されました。さらに、ライセンスアウト先のわかもと製薬株式会社により、緑内障治療剤「H-1129（WP-1303）」の国内非臨床試験が実施されました。

シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、「H-1129」バックアップ化合物の化合物最適化を完了し、作用メカニズムの解明を進めました。

売上高につきましては、「K-115」の国内製造販売承認を取得されたことによるマイルストーン収入40百万円（前年同期比20.0%減）を計上しました。

利益面につきましては、研究開発費が70百万円（前年同期比20.9%減）、その他販売費及び一般管理費が140百万円（前年同期比8.8%増）であったことにより、販売費及び一般管理費は210百万円（前年同期比3.4%減）となりました。その結果、営業損失は170百万円（前年同期営業損失168百万円）、経常損失は167百万円（前年同期経常損失179百万円）、四半期純損失は168百万円（前年同期四半期純損失180百万円）となりました。

なお、当第3四半期累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下の通りです。

① 新薬候補化合物開発状況

(イ) ライセンスアウト済パイプライン

プロジェクト名	開発中の新薬（対象疾患）	開発段階	ライセンスアウト先
K-134	抗血小板剤 （閉塞性動脈硬化症）	国内後期第Ⅱ相臨床試験 米国前期第Ⅱ相臨床試験終了	興和株式会社
K-115/グラナテック [®] 点眼液0.4%	緑内障治療剤 （緑内障・高眼圧症）	国内製造販売承認取得	興和株式会社
H-1129（WP-1303）	緑内障治療剤 （緑内障）	国内非臨床試験	わかもと製薬株式会社

(ロ) 新規開発品

プロジェクト名	開発中の新薬	開発段階
シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト	H-1129バックアップ化合物（緑内障治療剤）	化合物最適化完了
	眼科関連 神経系 循環器系 呼吸器系等	基礎研究

② 当期の業績の概況

(イ) 売上高、売上原価

売上高は「K-115」の国内製造販売承認を取得されたことによるマイルストーン収入40百万円(前年同期比20.0%減)を計上しました。

(ロ) 販売費及び一般管理費、営業損失

a. 研究開発費

研究開発費は人件費の減少等により、70百万円(前年同期比20.9%減)となりました。

シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、「H-1129」バックアップ化合物の化合物最適化を完了し、作用メカニズムの解明を進めました。

なお、当社のパイプラインである「K-134」、「K-115」及び「H-1129(WP-1303)」の研究開発費は、ライセンスアウト先の資金により賄われており、当社において研究開発費負担は発生しておりません。

b. その他販売費及び一般管理費

その他販売費及び一般管理費は、人件費及び支払手数料の増加等により、140百万円(前年同期比8.8%増)となりました。

これらにより、営業損失は170百万円(前年同期営業損失168百万円)となりました。

(ハ) 経常損失、四半期純損失

営業外収益に受取利息2百万円を計上したこと等の結果、経常損失は167百万円(前年同期経常損失179百万円)、四半期純損失は168百万円(前年同期四半期純損失180百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末から139百万円減少し、2,152百万円となりました。主な要因は、前事業年度末に比べ現金及び預金が102百万円減少したこと等によるものです。

なお、総資産に占める流動資産の比率は当第3四半期会計期間末98.9%、前事業年度末99.4%です。

負債は、前事業年度末から9百万円減少し、13百万円となりました。主な要因は、未払金が4百万円減少、未払法人税等が4百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前事業年度末から130百万円減少し、2,138百万円となりました。主な要因は、四半期純損失の計上により、利益剰余金が168百万円減少したこと等によるものです。

なお、借入金や社債等の有利子負債残高はありません。

また、負債純資産合計に占める純資産の比率は当第3四半期会計期間末99.4%、前事業年度末99.0%です。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の業績につきましては、平成26年2月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,647,259	1,544,779
売掛金	—	43,200
有価証券	618,960	517,989
その他	11,818	21,906
流動資産合計	2,278,038	2,127,875
固定資産		
有形固定資産	5,041	4,416
無形固定資産	281	244
投資その他の資産	8,671	19,736
固定資産合計	13,994	24,397
資産合計	2,292,033	2,152,272
負債の部		
流動負債		
未払金	9,328	4,842
未払法人税等	7,887	3,188
その他	5,377	5,550
流動負債合計	22,593	13,581
負債合計	22,593	13,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,347,997	2,366,684
資本剰余金	2,337,997	2,356,684
利益剰余金	△2,414,504	△2,582,602
株主資本合計	2,271,490	2,140,766
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,050	△2,075
評価・換算差額等合計	△2,050	△2,075
純資産合計	2,269,440	2,138,691
負債純資産合計	2,292,033	2,152,272

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	50,000	40,000
売上原価	—	—
売上総利益	50,000	40,000
販売費及び一般管理費		
研究開発費	89,467	70,785
その他	128,699	140,001
販売費及び一般管理費合計	218,167	210,786
営業損失(△)	△168,167	△170,786
営業外収益		
受取利息	490	2,300
その他	1,963	1,447
営業外収益合計	2,453	3,747
営業外費用		
株式交付費	6,597	343
新株予約権発行費	7,129	—
営業外費用合計	13,727	343
経常損失(△)	△179,441	△167,381
税引前四半期純損失(△)	△179,441	△167,381
法人税、住民税及び事業税	717	717
法人税等合計	717	717
四半期純損失(△)	△180,158	△168,098

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。